

専門性向上のための病院薬剤師会と薬剤師会の合同研修会

褥瘡治療薬サミット in かながわ2022

本研修会は、今年で9回目になります。令和4年の診療報酬改定（医科）では褥瘡対策の施設基準に薬剤師が記載され、また在宅医療においても欠かせない領域です。特に薬剤師の薬物治療支援が重要であり、褥瘡に関する臨床的な基礎知識の習得や薬剤の使い方など知識の向上がとても大切です。褥瘡患者を早く治癒させるために、褥瘡の薬物治療の積極的な薬剤師の介入を推進し、医師との協働薬物治療管理を是非とも実践しましょう。今回は、コロナ感染拡大防止のため少人数での開催となります。

- 日時：令和4年10月16日（日） 13：00（受付開始12：30）～17：20（予定）（事前申し込み・振り込み制）
- 会場：神奈川県総合薬事保健センター（横浜市磯子区西町14-11） **【現地開催のみ】**
 - JR「根岸駅」下車、徒歩2分です。なお、駐車場の用意はございませんのでご了承下さい。
- 参加費：●公益社団法人神奈川県病院薬剤師会会員、公益社団法人神奈川県薬剤師会会員：2,000円
 - 日本病院薬剤師会会員：2,500円 ●上記団体に属さない非会員：3,000円
 - ※事前振り込み（申込費負担）です。受講が確定しましたら、振り込み先の連絡をいたします。申込時のメール返信をご確認ください。なお、入金後の返金は致しません。
- 単位認定：●神奈川県病院薬剤師会会員：日病薬病院薬学認定薬剤師制度認定単位(Ⅲ-2・V-1、計2.5単位)（取得予定）
 - 日病薬生涯研修認定単位(1.75単位)（取得予定）
 - 日本褥瘡学会 褥瘡・創傷専門薬剤師認定制度単位（取得予定）
- プログラム：
 - 《講義1》13:10～15:05（115分）褥瘡の外用薬治療「骨太改革2022で明確にされた褥瘡における薬剤師の役割」
講師 古田 勝経氏（愛生館小林記念病院 褥瘡ケアセンター長・国立長寿医療研究センター特任研究員）
 - 《講義2》15:05～15:25（20分）褥瘡対策の施設基準に薬剤師が明記された意味と今後の取り組み
講師 飯田 純一氏（済生会横浜市南部病院 入退院支援センター）
 - 《実習》15:35～17:10（95分）講師 古田 勝経氏
 - DESIGN-Rではない新しい褥瘡の病態評価 ●薬剤や被覆材の特性
 - 褥瘡モデルを使用した処置方法の実際 ●医療材料の使い方 など
- 申込期間：令和4年8月29日（月）～令和4年9月30日（金）10時【早期終了の場合があります】
- 定員：神奈川県病院薬剤師会 20名、神奈川県薬剤師会 20名（原則先着順と致しますが、応募多数の場合は、ご所属で複数参加の場合など調整しますのでご了承ください。）
- 申し込み方法：
 - ①神奈川県病院薬剤師会会員、病院勤務者、その他：下記のURL又は神奈川県病院薬剤師会HP研修案内からお申し込み下さい。
申し込みURL：<https://forms.gle/Dmwp15fZAB3wMag49>
※申し込み期間終了後の受講可否連絡を必ず確認し、事前振り込み（申込費負担）して下さい。入金後の返金は致しません。
 - ②神奈川県薬剤師会会員、保険薬局勤務者：神奈川県薬剤師会HPよりお申し込み下さい。
- 体調チェック：研修会当日は、体調などの確認事項の記入をお願いします。



共催；公益社団法人 神奈川県病院薬剤師会
 公益社団法人 神奈川県薬剤師会